

第3期 加古川市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

骨子(案)

令和8年9月
企画部 企画広報課

1. 第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

全体目標

達成：0 未達成：2 達成率0%

目標指標	基準値	実績値					目標値
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
合計特殊出生率	1.44(※) (R1年)	1.43	1.36	1.30	1.28	—	1.61 (R8年)
20～44歳の転出超過数 (H27～H29年は外国人を含まない)	3,562人 (H27～R1年累計)	523人 (累計523人)	567人 (累計1,090人)	102人 (累計1,192人)	322人 (累計1,514人)	553人 (累計2,067人)	1,430人 (R3～R8年累計)

※合計特殊出生率は市独自算出

基本目標① “ひと” 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち

達成：1 未達成：1 達成率50%

目標指標	基準値	実績値					目標値
		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
出生数	1,820人 (R1年度)	1,811人	1,666人	1,587人	1,584人	1,524人 (R3～R7年度 平均1,634人)	1,890人 (R3～R8年度平均)
加古川市が子育てしやすいまちと 感じる市民の割合	45.4% (R2年度)	50.5%	48.8%	49.1%	46.8%	61.8%	60.0% (R8年度)

【今後の取組の方向性】

全国的な人口減少や少子化が進行する中、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を引き続き充実させるとともに、保育・教育環境の充実を図り、安心してこどもを産み育てられる環境づくりを推進する。また、結婚や出産、子育てに関する一人ひとりの価値観やライフスタイルを尊重し、誰もが希望する暮らしを実現できる地域づくりを進める。さらに、企業や地域と連携し、共働き・共育てを支える環境整備や働き方改革、アンコンシャス・バイアスの解消に向けた取組を推進するとともに、こどもが安心して学び成長できる環境を整え、少子化対策を総合的に推進する。

1. 第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証

基本目標② “しごと” いきいきと働けるまち

達成：0 未達成：1 達成率0%

目標指標	基準値	実績値					目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	
ハローワーク加古川管内の就職件数	4,476 件 (R1年度)	3,741件	3,628件	3,591件	3,247件	2,943件	5,000 件 (R8年度)

【今後の取組の方向性】

地域経済の活力を維持・向上させるため、若い世代の地元就職・定着の促進や、多様な人材が活躍できる環境づくりを進めるとともに、中学生をはじめとする若い世代が地域企業や地域産業に触れ、地域で働く魅力を知る機会を創出し、将来の地元就職や地域への愛着の醸成につなげる。また、創業支援や企業立地の促進などにより地域産業の競争力強化と付加価値の創出を推進するとともに、地域資源を生かした観光・交流の促進やシティプロモーションの充実により、交流人口・関係人口の拡大を図り、地域経済の持続的な発展につながる取組を推進する。

基本目標③ “まち” 住みたいまち、行きたいまち

達成：0 未達成：2 達成率0%

目標指標	基準値	実績値					目標値
		R3	R4	R5	R6	R7	
転出超過数 (H27～H29年は外国人を含まない)	4,386 人 (H27～R1年累計)	383人 (累計383人)	483人 (累計866人)	-151人 (累計715人)	148人 (累計863人)	407人 (累計1,270人)	1,200 人 (R3～R8年累計)
加古川市に住みたいと思う市民の割合	67.6% (R2年度)	72.7%	74.4%	75.5%	72.1%	74.4%	78.0% (R8年度)

【今後の取組の方向性】

大学や産業界等との連携を一層強化し、都市から地方への新たな人の流れの創出やUターン・移住・定住の促進に取り組むとともに、地域と継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大を図る。また、豊かな自然や歴史、文化芸術などの地域資源に加え、神戸・大阪への優れた交通アクセスや住みやすい生活環境など本市の魅力を生かしたシティプロモーションを推進し、若者や女性、子育て世代をはじめ、多様な世代に選ばれるまちづくりを進める。

2. 国の課題と方向性

国の課題

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 東京圏への一極集中と若者・女性の地方からの流出
- 労働力の減少と地域経済の縮小
- 人口減少を前提とした地域社会・生活サービスの維持

国の方向性

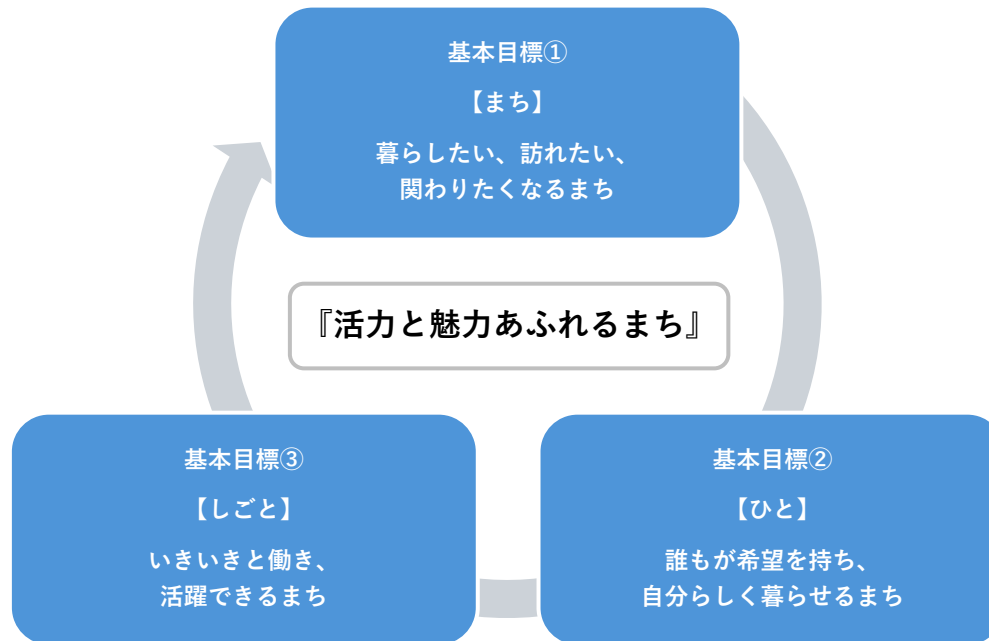
- 若者や女性にも選ばれる地域づくり
- 地域資源を活用した高付加価値型の地方経済の創出
- 安心して暮らせる地方の創出
- AI・デジタルなどの新技術が活用される地方の創出

3. 本市の課題と方向性

加古川市の解決すべき重点課題

- 出生数減少の緩和
- 20～24歳の転出超過への対応

基本目標・目指す方向性



重点施策

- 地域活力の向上と持続可能なまちづくりの推進
- 結婚、出産、子育て施策のさらなる充実
- しごと（働く場）の創出と産業振興による地域経済の活性化

※総合戦略全体を通じた横断的な取組：AX・DXによる課題解決

4. 基本目標、施策体系及び基本的方向

基本目標①

“まち” 暮らしたい、訪れたい、関わりたくなるまち

施策体系（案）	
基本的方向	具体的な施策
(1) 暮らしやすさを実感できるまちをつくる	・ 公共交通や都市機能などの利便性向上 ・ JR加古川駅周辺をはじめとした拠点エリアのにぎわい創出 ・ 公共空間を活かした交流・滞在空間の創出 ・ デジタル技術を活用した課題解決への取組 ・ 地球温暖化防止対策の推進
(2) 地域資源をいかした魅力あるまちをつくる	・ 自然、歴史など地域資源を活かした加古川ならではの魅力創出 ・ 観光・交流の促進による地域のにぎわいづくり ・ スポーツ・文化（将棋・音楽等）による交流とにぎわいの創出
(3) 官民等連携・広域連携により地域の活力を高める	・ 官民連携による地域課題の解決 ・ 近隣自治体等との広域連携による地域活力の向上 ・ 民間活力を生かした地域づくり
(4) 地域への愛着醸成と関係人口の創出・拡大を図る	・ シビックプライドの醸成 ・ 地域と多様に関わる関係人口の創出・拡大 ・ 情報発信の強化
(5) 安全・安心で持続可能なまちをつくる	・ 安全・安心なまちづくりの推進 ・ 空き家対策と魅力ある居住環境づくり

4. 基本目標、施策体系及び基本的方向

基本目標②

“ひと” 誰もが希望を持ち、自分らしく暮らせるまち

施策体系（案）	
基本的方向	具体的な施策
(1) 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる	・ 結婚、出産、子育てまで切れ目のない支援 ・ 子育て家庭への包括的な支援体制の充実
(2) 学びと成長を支える環境をつくる	・ こどもたちが健やかに育ち、学べる環境づくり ・ 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり ・ 地域への愛着と誇りを育む取組の推進
(3) 自分らしい働き方を実現できる環境をつくる	・ 子育てと仕事を両立できる環境づくり ・ 性別にかかわらず家庭と仕事を両立できる環境づくり ・ 多様なライフスタイルに応じた働き方の支援
(4) 多様性を認め合い、支え合える地域社会をつくる	・ アンコンシャス・バイアス解消に向けた意識醸成 ・ 多様性への理解促進と支え合いの地域づくり

4. 基本目標、施策体系及び基本的方向

基本目標③

“しごと” いきいきと働き、活躍できるまち

施策体系（案）	
基本的方向	具体的な施策
(1) 若者・女性・外国人など多様な人材の活躍を支援する	・ 若者、女性、外国人など多様な人材の就労支援 ・ 多様な人材が能力を発揮できる就業環境づくり
(2) 地域産業の成長と発展を支援する	・ 地域企業の成長支援と地域経済の活性化 ・ 地域産業の魅力発信強化 ・ AI・デジタル技術等を活用した産業の高度化支援
(3) 起業・創業の促進や企業誘致を図る	・ 起業・創業支援の充実 ・ 企業誘致による雇用創出と地域経済の活性化
(4) 誰もが働きやすい職場環境をつくる	・ 多様で柔軟な働き方の推進 ・ ワーク・ライフ・バランスの推進 ・ 働き方改革の推進
(5) 若者が地域企業とつながる機会を創出する	・ 中学生・高校生等への地域企業紹介やキャリア教育の推進 ・ 地域企業と若者との接点づくりの強化